



理念 患者さま一人ひとりを大切にする医療を目指します。



院長のごあいさつ

院長 鬼頭 浩之

令和7年度も住民の方々や地域のクリニックの先生方からのご支援・ご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。

新年度が始まり、今春大学を卒業して入職した新人が働き始めています。ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、温かい目で見守っていただけましたら幸いに存じます。

さて、この文章を書いております今（四月上旬）は、強風に耐えて咲いていた下志津病院の桜もそのピンクの花びらは散り、新緑がまぶしく感じ始めるようになりました。桜の隣にはコブシが白い花をつけています。

振り返りますと今年の1月は記録的な寒さに見舞われ

ました。寒さの中、院内の小道の脇には水仙が咲き、寒波が居座っている時にも紅梅はつぼみを膨らませ、2月には可憐な花を咲かせてくれました。西郷隆盛が甥に宛てた激励の手紙の一節である「雪に耐えて梅花麗し」（厳しい雪の寒さに耐えてこそ、梅の花は美しく咲く）を思い出しました。

団塊の世代の方々が75歳以上の後期高齢者になられる2025年が過ぎました。現在、高齢者人口が過去最多となる2040年ごろを見据えた「新たな地域医療構想」が議論されています。当院は、今後も増えると思われる高齢者の救急を受け入れることや、在宅医療・在宅介護を支援することで地域のご高齢者やご家族が安心してお住まいになれるよう貢献して参ります。

ご存知のとおり、下志津病院は小児医療でも地域医療に貢献をしてきました。時代とともに果たす役割を考えつつ、持続可能な医療体制の構築に取り組み地域の皆さまに信頼され、安心してご利用いただける病院であり続けたいと考えています。病院経営は厳しさを増してはおりますが、今を耐えてこそ、明るい未来があると信じて引き続き努力して参ります。

本年度も、皆さまの変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

Index

| | |
|------------------|-----|
| 新任挨拶 | 2～3 |
| ボランティア活動紹介 | 4 |
| 職場紹介 | 5 |
| フレイルを予防し、健康的な生活を | 6 |
| 地域医療連携室より | 7 |

新任挨拶

看護部長

西村 由紀



このたび、国立病院機構下志津病院看護部長として着任いたしました西村由紀と申します。これまで培ってきた経験を活かし、患者さま一人ひとりの思いに寄り添う看護を大切にしていまいります。

当院は、長年にわたり地域の皆さまの健康と暮らしを支えてきました。その歴史と信頼を受け継ぎ、さらに発展させるため、看護部としては「思いやりと確かな技術」を柱に、安心して療養いただける環境づくりに努めます。また、地域の医療機関や福祉施設とも連携を深め、在宅療養や退院後の生活支援にも力を注いでまいります。

これからも、皆さまが笑顔で日々を過ごせるよう、職員一同、心を込めて看護にあたります。どうぞ温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

企画課長

渡邊 孝



令和8年4月1日付けで東京医療センターより配置換となりました企画課長の渡邊 孝と申します。どうぞよろしくお願いいたします。出身は茨城県水戸市で、千葉県内の施設は千葉医療センターに続き、二度目となります。6年ぶりに千葉県に足を踏み入れ、懐かしい気持ちでいっぱいです。

社会情勢の変動により、医療を取り巻く環境は日々目まぐるしく変化しており、経営に関しましても非常に厳しい状況にあると認識しています。

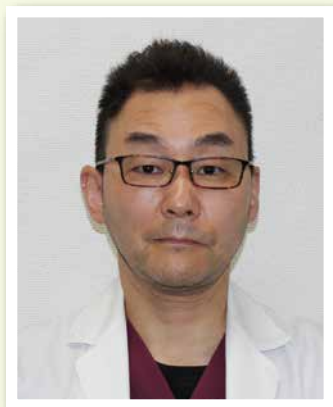
当院の病院理念にあります「患者さま一人ひとりを大切にする医療」を維持しつつ、健全な病院経営を実現しなくてはならないと考えております。

まずは、日々の職務に精励し、職責を果たせるよう努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

新任挨拶

診療放射線技師長

川崎 禎弘



2026年4月1日付で赴任いたしました川崎と申します。この度、診療放射線技師長を拝命し、職場長という大任に身の引き締まる思いであります。

診療放射線部門を取り巻く環境は日々大きく変化しておりますが、「患者様一人ひとりを大切にする医療」という下志津病院の理念に則り、安全で信頼される放射線医療を提供することが、私たちに求められる最も重要な使命であると考えております。

今後は、これまで私自身が現場で培ってきた経験を生かしつつ、

- 安全で質の高い放射線業務の推進
- 人材育成と働きやすい職場環境づくり
- 他職種との連携強化 に注力し、診療放射線部門全体のさらなる発展に寄与してまいりたいと存じます。

至らぬ点が多いかと存じますが、一步一步着実に責務を果たしていく所存ですので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

副臨床検査技師長

武田 昌基



この度、令和8年4月1日付けで副臨床検査技師長を拝命しました武田と申します。

専門医療としての役割を担い、長い歴史の中で地域医療としても強い信頼関係を築いてこられた下志津病院の一員となり身の引き締まる思いと、新しい環境で心機一転して働けることに大変嬉しく思っております。

国立病院には、旧・国立療養所晴嵐荘病院に非常勤職員として採用されてから当院で7施設目となります。臨床検査は患者の状態を評価・診断するために行われる検査で、いくつかの主要な分野に分かれています。私はこれまで生理検査を中心に他分野の検査も経験して参りました。当院では副臨床検査技師長として検査部門の運営を補佐し、医療チームの中で他職種と連携する調整役として重要な役割を担うこととなります。これまでの経験を生かし他職種の方とコミュニケーションをとり目標達成に向けたマネジメントに貢献したいと考えております。なお、趣味はマラソンです。地元の手賀沼マラソンには毎年参加し、先日の日立さくらロードレースでは小学5年でサッカーに夢中の甥っ子と1.8km 親子マラソンに参加し7位と好成績を納めました！ 仕事の面でも体力と継続力を活かし、何事にも前向きに取り組んでいきたいと考えております。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、1日も早く戦力となれるように努力して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



下志津病院 ボランティア活動紹介



下志津病院の重症心身障害病棟・筋ジストロフィー病棟・小児病棟では、多くのボランティアさんが活動しています。感染対策のため、ボランティア活動を縮小しておりましたが、直接利用者さんと関わる活動も一部再開しております。

裁縫

【第2金曜 13:00~15:00】



ミシンなどを使って、利用者さんの洋服の修理や加工をお願いしています。来院困難な方は郵送対応もしておりますので、ご自宅での活動も可能です。

園芸

【不定期（雨天中止）】



病棟付近の花壇の手入れや草むしり、水やりなどをお願いしています。病棟周辺に綺麗に咲いている花は、ボランティアさんが整備してくださっているものです。

車椅子清掃

【第2金曜 14:00~ 15:00】



利用者さんの車椅子の掃除やタイヤの空気入れなどをお願いしています。

傾聴

利用者さんのお話を聞いていただくボランティアです。
(曜日・時間等 応相談)



作業補助ボランティア

利用者さんの製作活動の補助をしていただいています。
(曜日・時間等 応相談)

行事関係

ロビーコンサートや行事にて演奏やパフォーマンスを披露していただける方も募集しています！

【現在休止中のボランティア活動】

ドライバーかけ、体育館遊び、学習ボランティア

ボランティア 表彰式・懇談会・講習会

継続的にボランティア活動をして下さっている皆さんに感謝の気持ちをお伝えするために、「表彰式」を開催しております。

また、ボランティアさんが活動しやすいように、環境の改善やボランティアさんとの交流を目的とした「懇談会」を実施しています。そして、日頃のボランティア活動に役立つ内容で、車椅子操作方法や講話等を中心とした「講習会」も実施しております！

地域に開かれた病院を目指す私たちにとって、ボランティアさんは欠かすことのできない存在です。心よりお待ちしております！



ボランティア活動をご希望の方は、下記までお問い合わせください！
ボランティア活動をするためのオリエンテーションや、登録方法等のご案内をさせていただきます。

【問い合わせ先】下志津病院 療育指導室 ボランティア事務局 ☎ 043-422-2511 (代表)



職場紹介

「検査室はどんなこと？」

臨床検査科では患者さまの診断から治療を支えるため、日々多様な業務に取り組んでいます。検査とは主に血液、生化学・免疫、一般、輸血、微生物、生理、病理の7つに大別され、これらの幅広い分野の検査を正確かつ迅速に行うことで医師や看護師等と連携しながらチーム医療に貢献しています。

..... ● 検査科の取り組み

精度向上と効率化をはかり、検査時間の短

最新の機械による自動化や精度向上などを行うことで品質の向上や効率化を行います。

院内での品室管理！

院内の検査に関わる物品の期限や保存状態、機械の保守点検を行い検査の品質管理を行います。



研修や勉強会、学会を通してスタッフの成長を促

若手技師が多いですが、先輩技師からの指導やお互いに教えあいながら日々向上するよう邁進しています。

患者さまが迷わないための動線づくり！

心電図や肺機能検査等を行う生理機能検査室は、外来からやや離れた場所に位置しているため、写真のように各種検査への案内を表示しています。



..... ● 検査科の取り組み



我々が目指す技師像は、「正確で信頼される技師」と「柔軟に協働できる技師」です。

若手が中心のチームですが、共に助けあいながら誠実かつ柔軟に検査業務を行い、地域医療に貢献しています。今後も学びと改善を続け、安心・安全で質の高い検査サービスの提供を通じて皆さまの信頼に応えられるよう努力してまいります。

「フレイルを予防し、健康的な生活を」

栄養管理室 白戸ゆり

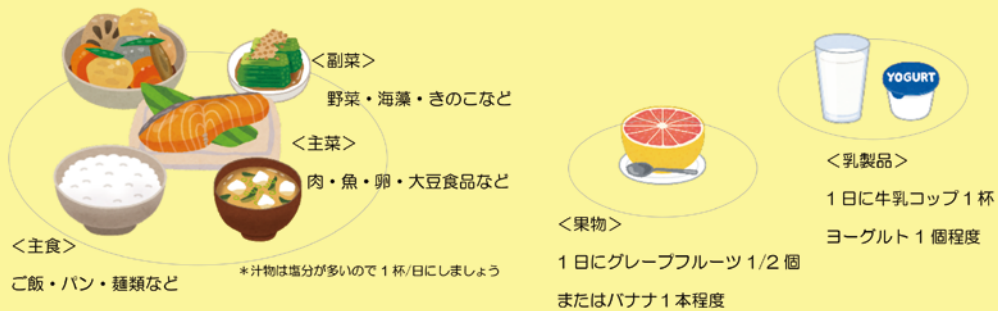
フレイルという言葉をご存じでしょうか？加齢によって心身の働きが弱くなり、「健康な状態」と「要介護」の間にある状態のことです。最近「体重が落ちてきている」「疲れやすくなった」「力が弱まっている」という方はいませんか？このような方はフレイルかもしれません。フレイルは早めに対策を行えば、もとの状態に戻ることができます。大事なことは早めに気づき、適切な取り組みを行っていくことです。

フレイルを予防する為に必要なことは「運動・社会参加・栄養」です。運動はウォーキングやストレッチなど緩やかなもので良いです。今より10分多く、体を動かすことを意識しましょう。社会参加とは就労や趣味・ボランティアに参加するなどです。ご自身の興味のあることで社会と交流を持つことがおすすめです。

栄養についてです。高齢者は食べ過ぎより食べなさすぎが問題となることがあります。まずはご自身の食事を確認してみましょう。大事なポイントは以下の点です。

- ・3食しっかり摂る。
- ・主食・主菜・副菜を組み合わせる。
- ・いろいろな食品を食べる。

＜主食・主菜・副菜のそろったバランスの良い食事＞



特にたんぱく質を含む食品を意識的に摂ることが大事です。たんぱく質とは肉や魚や卵や大豆食品などに多く含まれます。これらを毎食1品は取れていますか？たんぱく質の摂取量が少なくなると筋肉量が減少します。加齢とともに筋たんぱく質の合成が遅くなる為、高齢の方はより一層たんぱく質を含む食品をしっかり摂ることが大切です。

＜たんぱく質を手軽に摂るために＞

サラダにツナ缶やゆで卵を追加する

汁物や麺類に肉類や卵を追加する

間食に豆乳や乳製品を利用する



*腎臓疾患など持病のある方は主治医に確認をしましょう。

体や心の衰えは予防できます。これからも健康的な生活を続ける為に、フレイル予防の「運動・社会参加・栄養」を毎日の生活に取り入れていきましょう。

出典「厚生労働省 令和元年度食事摂取基準を活用した高齢者のフレイル予防事業

地域医療連携室より

多職種協働研修会を開催しました

3月1日(日)四街道市内の医療機関、介護事業所の皆さんが集まって医療と介護の連携を深めるための研修会を行いました。今回は、四街道市消防本部の皆様もご参加くださり、救急場面における医療と介護のより良い連携について皆で考え、学びあいました。救急隊の皆様のお声を聴かせていただき、現場から救急車を呼ぶ介護事業所側も、受け入れる医療機関側も新しい発見が沢山ありました。救急隊員、医師、看護師、ケアマネジャー、薬剤師、ソーシャルワーカー、リハビリセラピスト、介護施設のスタッフと皆様熱心に意見交換をしていました。アンケートでも、またやりたいとの声が多く聞かれ、充実した時間となりました。



令和7年度 多職種協働研修会
日時： 令和8年3月1日(日) 9:00~12:00
場所： 四街道市文化センター 301・302号室

テーマ：救急搬送連携 ~介護と医療が力を合わせて出来る事~

今回は、四街道消防本部の皆様と一緒に、急変時の連携対応について考えていきたいと思
います。自宅、施設で、いつでもどこでも利用者さんの急変はあります。その時に何を準備
しておけばよいのか、なぜその準備が必要なのかを皆さんと共に考えていきましょう。そし
て、明日からの業務に是非活かしていただければと思います。

【申し込み方法・時期】
・既製のFAX用紙もしくはQRコードでお申し込みください。
・お切は、令和8年2月29日です。
・定員に達した場合は、締切日前に申込受付を完了する場合があります。
・感染症拡大など急遽中止となる場合にはお申し込み時の電話番号にご通
信いたします。

【申し込みQRコード】



お問い合わせ先：
四街道市在宅医療・介護連携支援センター
TEL: 043-420-8139 (FAXも同じ番号になります。)
E: ymc-dent50@yiwokai.or.jp (5F)



~患者相談窓口について~

怪我や病気のために医療機関を利用することは誰にでも起きうることです。そして、時には、その怪我や病気によって自分の今までの生活スタイルを変更せざるを得なくなることもあります。「治療期間中の生活」「退院後に自宅に帰れるか心配」「自分が入院している間の家族が心配」「医療福祉制度」など、気になることがございましたら、患者相談窓口までご相談ください。

【患者相談窓口】

場所：総合受付横の5番窓口までお越しください

受付：平日 8:30 ~ 17:00



受付時間
8:30 ~ 11:00

外来診療担当表

独立行政法人 国立病院機構 下志津病院
令和8年4月1日～

| 区分 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|--|--|--|---|---|
| 一般内科(毎日) ○初診担当 | 古川 ○富澤 | ○古川 篠崎 | 古川 ○黒田 | ○杉浦 | ○石井 |
| リウマチ科(毎日) ●初診担当 | ●杉本 宮林(PM) 乗本(PM) | ●杉山 古川 末石 横山(AM) | ●黒田 眞山 | 杉山 杉本 黒田 | ●杉山 杉本 ●石井 亀田 |
| 消化器内科(月・水) アレルギー科(成人)(喘息) | 富澤 | | 富澤 | | 岩本(AM) |
| 呼吸器科 | | | 佐野 (第1・3・5 13:00~15:00) | | |
| 禁煙外来※ | | | 鈴木(修) (15:00~16:00) | | |
| 脳神経外科 | 丹野 | 石毛/丹野 | 深谷 | 丹野 | 深谷 |
| 神経内科 | | 本吉/佐藤/三方 | 本吉 | 田中 | 本吉/角谷/三方 |
| 小児神経科※ | | | 石原 | 大村 | |
| 小児科 一般小児科(毎日) 喘息・アレルギー (予約制)※ 代謝(火のみ) 腎臓(水(PM)) ◎神経(月・木・金)※ 肥満(予約制)※ 成人食物アレルギー (木(PM)) | 一般 喘息・アレルギー・神経 (予約のみ) ◎甲斐(神経) 鈴木(修)(AM) 交代制(女子医大) | 一般 喘息・アレルギー・代謝 (予約のみ) 山本(第1・3のみ) 須藤 佐藤(一) | 一般 喘息・アレルギー(予約のみ) 腎臓(PM) 鈴木(由) 鈴木(修) 栗原(AM) | 一般 喘息・アレルギー(予約のみ) 神経 ◎砂川 西井 佐藤(一) 交代制(女子医大) | 一般 喘息・アレルギー(予約のみ) 神経 ◎関谷(神経) ◎石原(神経) 鈴木(修) 天野 |
| 外科 | 白井 | | 白井 | 長谷川(予約制) | 白井 |
| 整形外科 | 鈴木(宗) 河野 | 鈴木(宗)(第2・4のみ) 林(浩)(第1・3・5) 江口(PM)(第3・5のみ) | 鈴木(宗) 林(浩)(AM) | 鈴木(宗) 柿沼 | 林(浩) |
| リハビリテーション科 | 角谷(指定する日) | | | | |

以下の疾患の診察は、完全予約制となります。初診の方は、地域連携室で予約をお願いします。(予約受付時間 14時～16時)

- ※ 小児神経科
- ※ 成人・小児科の食物アレルギー
- ※ 気管支喘息・アトピー性皮膚炎
- ※ 肥満、低身長、内分泌疾患、乳児血管腫
- ※ 市の健診の精密検査
- ※ 禁煙外来
- ※ 睡眠時無呼吸外来、禁煙外来
- ※ 整形外科の診察をご希望の方、これまで診察を受けていた方もすべて予約制となります。初めて受診される方は紹介状が必要になります。一度お電話にてお問い合わせください。

検査担当医師表

| 区分 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------------|--------|-----------|---------------|--------|--------------|
| 内視鏡 (予約制) | 胃 | 富澤 | 長谷川 | | 篠崎 |
| | 大腸 | | 長谷川・白井 | | 長谷川・白井 |
| 超音波 (予約制) | 腹部 | 富澤(AM) | | 篠崎(AM) | 富澤(AM) |
| | 関節 | 山形・乗本(PM) | | | 山形(PM) |
| | 心臓(成人) | 堅田(AM) | 筋ジス木村(第3・不定期) | | |
| | 心臓(小児) | | | | 濱田(PM)(第2のみ) |

四街道市 健診は第4木曜日14:00から行います。
乳児健診 予防接種・乳児健診予約のお問い合わせは1番窓口と電話にて受付しています。(予約受付 平日13:00~16:00 043-422-3513(直通))

- ・ 精神科・皮膚科・歯科・眼科・耳鼻科は、主として入院患者を診察しています。



独立行政法人 国立病院機構 **下志津病院**

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡934-5
電話：043-422-2511 FAX：043-421-3007
ホームページ <https://shimoshizu.hosp.go.jp>



下志津病院 看護部の
Instagramはこちら



ホームページは
こちらへ

第36号

令和8年4月発行

発行責任者 鬼頭 浩之
編集委員長 三方 崇嗣